

ロンドン 2022 年 8 月 3 日

フェストアルピーネ向けプロセス制御システム導入第 1 フェーズ完工

- 近代化の第 1 フェーズが完工 - 今後数ヵ月で 15 フェーズを予定
- 既存のソフトウェアライブラリの採用により、テスト作業とダウンタイムを削減
- アップグレードにより、投資回収の確実性とシステムの可用性が向上
- LD3 製鉄所のプロセス制御全システムの近代化は 2022 年末までに完工予定

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は、オーストリア、リンツにあるフェストアルピーネ (voestalpine) の LD3 製鉄所向けプロセス制御全システムの近代化を進めており、この度、第 1 フェーズを完工しました。第 1 フェーズでは、3 つの転炉ラインのプロセス制御システムが更新されました。

投資回収の確実性と可用性が向上

プロセス制御全システム更新により、製鉄所の投資回収の確実性とプロセス自動制御システムの可用性がともに改善されます。対象のプロセス制御システムが 100 を超えるこのプロジェクトは 16 のフェーズに分かれており、2022 年末に完工する予定です。

近代化の第 1 段階は、3 つの転炉ラインと上位転炉エリアの制御システムが対象でした。今後、二次冶金、スラブ処理、除塵装置などの更新を順次行っていく予定です。新しいプロセス制御システムの稼働前には、「デジタルツイン」と呼ばれる、生産システムの全機能を備えたデジタルシミュレーション環境でのテストを行います。

世界最大級のシステム

フェストアルピーネのLD3製鉄所の旧プロセス制御システムは、SIMATIC PCS 7 システムをベースとし、多数のソフトウェアライブラリを保有しており、PCS 7 ベースとしては世界最大級です。制御システム全体を更新しながらも、当社が既存のライブラリを引き継ぐことで全ユニットの重要な機能の大規模なテストに費やす時間を節約し、長時間のプラント停止を回避することができます。

詳細な文書化

新しいプロセス制御システムは、電子スペアパーツの調達を確保し、操作の信頼性を向上させ、最新のハードウェアとソフトウェアとの長期的な互換性を保証します。プロジェクトを通じての詳細な文書化により、変換後も既存のプロセス制御システムの証明書が有効であることを保証します。

欧州有数の鉄鋼メーカーであるフェストアルピーネは、自動車、電機、加工業界向けに鉄鋼を供給しています。リンツでは、コークスプラント、高炉、製鋼プラント、熱間・冷間圧延ライン、亜鉛メッキ・ストリップコーティングラインなどを備え、すべての生産工程を1箇所で行う完全一貫型の製鋼プラントを運営しています。



プライメタルズ テクノロジーズは、オーストリア、リンツにあるフェストアルピーネの LD3 製鉄所向けプロセス制御全システムの近代化を進めています。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）によるプレスリリース及び使用料無料写真は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ SNS 公式アカウント

[linkedin.com/company/primetals](https://www.linkedin.com/company/primetals)

[facebook.com/primetals](https://www.facebook.com/primetals)

twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : <https://www.primetals.com/jp>